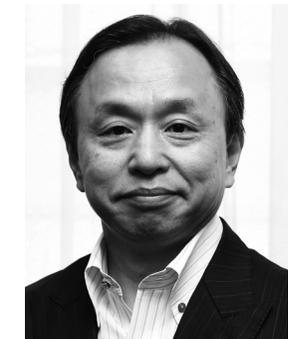


# 習近平体制の検証

## ―内政・外交・対日関係

防衛大学校校長 国分良成



- \* 中国の権力闘争を見抜く必要
- \* 弱体だった習近平体制に変化の兆し
- \* 鄧小平ラインの前提は平和と発展
- \* 中国の内政に翻弄される日中関係
- \* 巨大な利権集団に踏み込めるか
- \* 限界にきた社会主義市場経済
- \* 米中関係の最大の問題は台湾
- \* 「反日」は路線めぐる権力闘争を反映
- \* 中国の深層を見据え対話努力を

**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日は防衛大学校長の国分先生をお招きいたしました。当会には5回ぐらいおいでになつて  
いるようですが、防衛大学校長になられてお忙  
しいのではないかとということで、私どものほう  
がちよっと遠慮しておりました。今日は久しぶ  
りに中国に関する最新の分析を伺えるというこ  
とで楽しみにしております。

それではよろしくお願いいたします。（拍手）  
**国分** ご紹介をいただきました防衛大学校長  
の国分良成でございます。経済倶楽部では5回  
ほど講演をさせていただきました。そのときは  
慶應義塾大学の教員として登壇いたしました。  
昨年4月からもう1年半になりますけれども、  
防衛大学校に移りました。経済倶楽部のほうが

やや遠慮されたようですが、確かに国家公務員  
ですので話せる内容と話せない内容があります。  
さまざまな守秘義務があり、お話しできないこ  
ともありますが、お話ししやすいこともござい  
ます。特に私の場合、中国問題を専門にしてい  
ますので、中国分析という点では、一人の学者  
として今の中国をどう見るか、などは比較的自  
由にやらせていただいています。

まず昨年11月から始まった「習近平体制」を  
どのように見たらいいのか。ご承知のように中  
国の政治は絶えず変動しています。過去の私の  
講演内容を紐解けば、中には当たっていないこ  
ともあるかもしれませんが、全体として基本は  
変わっていないと思います。私の中国を見る視  
点は、基本的には「すべて中国の中から見たい